

## 千葉県医療審議会 令和4年度第1回地域保健医療部会 開催結果

1 日時 令和5年1月31日（火）午後5時から午後5時35分まで

2 開催方法 オンライン開催

3 出席部会員

（総数26名中21名出席）

有光孝生、五十嵐昭子、今井俊哉、入江康文、大河原伸浩、亀田信介、神部眞一、木名瀬訓光、木村直人、合江みゆき、澤井謙一、杉浦邦夫、鈴木光、角南勝介、諏訪さゆり、関根博、寺口恵子、平山登志夫、藤澤武彦、松岡かおり、渡辺絹代

※ 五十音順、敬称略

4 会議次第

（1）開会

（2）健康福祉部保健医療担当部長挨拶

（3）議事

・部会長の選出について

（4）報告事項

・地域保健医療連携・地域医療構想調整会議について

・病床機能再編支援事業（単独支援給付金）の申請について

（5）閉会

5 議事概要

（1）部会長の選出について

互選により部会長には千葉県医師会長の入江部会員が選出された。

6 報告事項

（1）地域保健医療連携・地域医療構想調整会議について

○ 事務局説明

資料1により事務局から説明

○ 意見・質疑応答

（部会員）

千葉大学からの医師派遣で成り立っている医療機関が多くあると思うが、一年後、医師の働き方改革が始まった時に、地域の医療機関への医師派遣が少なくなると心配している。こういった対策を考えているか。

（事務局）

地域の医療関係者からも、一部、同様の心配の声をいただいている。県では調整

会議に先立ち、医療機関に派遣元とどういった協議をしているのか、あるいは、派遣を受けやすくなるように宿日直許可を取得するかどうかなど色々お伺いしているところ。各医療機関においては、まさに今、対策を講じられていることかと思うが、調整会議等で地域の意見をお伺いするとともに、医療機関への補助制度などの活用も促しながら、できるだけ地域の医療提供体制が確保されるように取り組んでいきたい。千葉大学においても、派遣先の医療機関と連携を取っていただいていると承知している。

(部会員)

先週金曜日の NHK の番組で千葉大学の肝胆膵外科の医師の勤務状況に係る番組が放映されていた。内容は、まず、派遣先で当直を行い、千葉大学に帰ってまた当直を行い、次の日に手術をするようなスケジュールで、6 1 時間後に自宅に帰れたというよう話であった。一番厳しいところを撮ったとは思いますが、そういう状態で勤務すること自体が問題だし、手術を受ける患者の身になったら不安がある。

(部会員)

大学からの医師派遣が来なかったら出来ないということで、二次救急病院から救急をやめようかという話も聞いている。そうすると我々のような三次救急病院に患者が集中して、機能が低下することを懸念している。特に我々の病院では宿日直許可を取れるような状況でない診療科がいくつかあり、その辺を上手く調整いただきたい。具体的に指摘すると、新生児科と心臓血管外科が一番の問題で、両診療科の医師はすぐに養成するのは難しいので、千葉県の医療は来年を乗り越えられるのか、という懸念を持っている。働き方改革の審査がうまくいかなかった場合、県で解決のための支援を行うというようなポジションではないと、うまくいかないと感じている。

(2) 病床機能再編支援事業（単独支援給付金）の申請について

- 事務局説明  
資料 2-1、2-2 により事務局から説明
- 質疑応答要旨  
特になし

(3) その他

2/18 に開催予定の「地域医療構想調整会議活性化事業 講演会」について、事務局から周知を行った。

7 閉会 午後 5 時 3 5 分